

## 会議記録

附属機関の名称	熊谷市行政改革推進委員会
開催日時	平成30年9月4日（火） 午後2時から午後4時まで
開催場所	市役所本庁舎303会議室
出席者	熊谷市長 【委員】 藤間憲一会長、吉田公一副会長、 鈴木理裕委員、石川広己委員、関口恒雄委員、藤野佳子委員、 後藤真太郎委員、内田功一委員、松永勲委員、永井眞澄委員、 渡辺和敏委員、加藤英明委員 【事務局】 清水総合政策部長、長谷川室長、小貝主幹、吉原主査
傍聴人	1名
問い合わせ先 (所管課)	総合政策部行政改革推進室（市役所本庁舎3階） TEL 048-524-1111（内線216）
内容	<p>【諮問】 市長から委員会に対し、第3次熊谷市行政改革大綱（案）の諮問を行った。</p> <p>【審議の進め方】 本日の会議では、第2次熊谷市行政改革大綱実施状況の実施状況報告を行った後、第3次熊谷市行政改革大綱（案）について事務局から説明し、概要についての質疑等を行い、次回に内容の集中審議を行うこととした。なお、今回は、10月上旬に開催を予定。</p> <p>【第2次熊谷市行政改革大綱実施状況報告について】 事務局から「第2次熊谷市行政改革大綱 実施状況報告書」に基づき、各計画項目について実施状況を報告し、各委員から意見等を伺った。 主な意見として、 ○効果額をできる限り見える化していただきたい。 ○マイナンバーカードの交付手続きを簡略化していただきたい。 ○市民ニーズを迅速に把握するためにも、市民の声を聞く手段を市民課窓口を設置していただきたい。</p>

- 統合型 GIS について、効果的な活用を研究していただきたい。
- 効率化が住民サービスの低下に繋がらないようにしていただきたい。

**【第3次熊谷市行政改革大綱（案）について】**

事務局から、大綱（案）の概要について説明を行った。

主な意見として、

- 大綱策定に当たり、住民サービスを第一に検討していただきたい。
- 公共施設の統廃合は必要だが、インフラ整備は行政の役割である。一定程度の投資は行っていただきたい。
- 市の気概、責任感を示していただきたい。
- 効率化には限界がある。戦略を練っていただきたい。

**【その他】**

大綱（案）について、質問等がある場合には、事務局へ送付し、回答については、次回の会議で報告することとした。

以上